

佐賀支部健康づくり戦略について



令和8年10月20日
全国健康保険協会

1. 佐賀支部 課題シート

	課題
1	◎内分泌、栄養及び代謝疾患に係る外来医療費が高く、その地域差が大きい。また、代謝リスク保有者の割合が高い ・特に糖尿病に係る医療費の全国平均からの乖離率が高い。 ・代謝リスク保有率の割合が男女とも全国平均より高い ・「総合工事業」は入院外の「糖尿病」で、全国の同業態と比較して医療費が高い。 また、性年齢階級別でみると「総合工事業」の男性は40～44歳を除き全国より高い。 ・「代謝リスクの割合」について、特に「総合工事業」の男性は、年齢階級によらず支部平均より高い
2	◎循環器系の疾患に係る外来医療費が高く、その地域差が大きい ・特に高血圧性疾患に係る医療費の全国平均からの乖離率が高い ・「循環器系の疾患」については、いずれの業態においても「高血圧性の疾患」で全国の同業態と比較して、医療費が高い また、「総合工事業」の女性を除き、性年齢階級によらず、全国より高い ・「血圧リスクの割合」は、「総合工事業」の男性及び「食料品・たばこ製造業」の女性は支部平均より高い
3	◎新生物に係る入院医療費が高く、その地域差が大きい。また、喫煙習慣の割合が高い ・特に気管、気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞に係る医療費の全国平均からの乖離率が高い ・喫煙者の割合が男女とも全国平均より高い ・「総合工事業」の入院外において、「肺等の悪性新生物」が全国の同業態と比較して、医療費が高い。 また、男性は年齢階級によらず「喫煙習慣がある者の割合」が支部平均より高い

※情報系システムから取得できるデータ等により、他支部との比較や時系列比較を行い、自支部特有の課題を抽出。

2. 佐賀支部 健康づくり戦略（案）

中期戦略プランを踏まえ、当支部における「支部健康づくり戦略」の構成及び主な取組は以下の通りです。

佐賀支部健康づくり戦略

I) 戦略目標

健康づくりに係る取組の推進や、加入者のヘルスリテラシーの向上等を通じ、代謝リスク保有者割合の減少を図ることにより、健康の保持・増進、健康寿命の延伸に努めます。また、加入者が良質かつ効率的な医療を享受できるよう医療費適正化に係る取組を進めることにより、協会の理念である加入者・事業主の利益の実現を図ります。

II) 戦略概要

佐賀支部の一人当たり医療費は全国の中でも高く、年々増加傾向にあります。また、代謝のリスク保有率及び喫煙者の割合が全国平均より高い水準にあります。

これらの課題に対して、地域・職域の特性を踏まえたポピュレーションアプローチに積極的に取り組むとともに、健康経営の推進を図ることで、健康づくりを総合的に推進します。

さらに保健事業の基盤となる健診及び特定保健指導や重症化予防の取組の拡充に加え、関係機関・団体との連携を強化し、地域・職域が一体となった健康づくりを進めます。

2. 佐賀支部 健康づくり戦略（案）

Ⅲ）3年間の主な取組

《健康の保持・増進》

[個人の特性に応じた支援]

- 全国と比較して代謝リスク保有者の割合が高いという支部の健康課題を踏まえ、健診結果から将来的に生活習慣病（糖尿病等）を発症する可能性のある40歳未満の若年層に対して、生活習慣改善を促す取組（文書による情報提供等）を実施します。
- 全国と比較して喫煙者の割合が高いという支部の健康課題を踏まえ、喫煙者に対し、禁煙を促す取組（文書による情報提供等）を実施します。

[健康経営の推進]

- 各関係団体と連携しながら周知・広報を行い、これまで以上に健康経営の推進を図ります。
- 事業所が従業員等の健康づくり（健康経営）を自ら実践できるように、健康づくりに関するキーパーソンとなる事業主等への働きかけをより一層推進します。
- 保健師・管理栄養士等が事業所へ訪問し、健康経営の重要性を直接伝えるなど、事業所が取り組む健康づくりの後押しとなるように、よりきめ細やかなフォローアップを行います。

[健診の拡充]

- 生活習慣病予防健診等について、事業所だけでなく、周知が行き届いていない可能性のある加入者個人に対しても利用案内を積極的に行い、受診率向上を図ります。また、生活習慣病予防健診等を未受診の者については、事業主への働きかけ等により事業者健診データの取得を推進します。
- 全国順位の低い被扶養者の受診率の向上を図るため、魅力ある受診環境づくり（集団健診の拡充等）を継続して行い、受診行動を促します。
- 加入者の受診機会の確保のため、生活習慣病予防健診及び人間ドック健診実施機関の新規拡大を図り、受診環境の向上に努めます。
- 人間ドック健診の開始や生活習慣病予防健診の受診対象者を拡大したことについて、受診状況等を適切に把握したうえで、受診率向上に向けて積極的に周知・広報を実施します。
- 健診の質の維持・向上を図るため、選定基準の充足状況や精度管理の体制等、実地調査や書面による確認を行い、必要な指導等を適時適切に実施します。

2. 佐賀支部 健康づくり戦略（案）

Ⅲ）3年間の主な取組

〔特定保健指導の量・質の向上〕

- 特定保健指導の量の拡大を図るため、健診当日に特定保健指導を実施できる健診機関の拡大に努めるとともに、健診時の特定保健指導が必須化されている人間ドック健診を積極的に推進します。また、健診時において特定保健指導未利用の者については、支部において文書・電話等による勧奨を確実に実施することで、保健指導利用者の拡大につなげます。
- 特定保健指導の質の標準化及び向上を図るため、学会等を含めた外部研修会への参加や、保健指導委託機関と合同で開催する研修会において、好事例展開や情報共有等を積極的に進めることで、保健指導実施者の人材育成・スキルの向上に努めます。

〔重症化予防の拡充〕

- 糖尿病、高血圧症、LDLコレステロール高値の未治療者について、健診機関による健診結果の通知等と併せた受診勧奨や、支部においても電話等による受診勧奨を確実に実施していくことで、医療機関等への速やかな受診につなげます。
- がん検診受診者については、これまでの胸部エックス線検査の結果に基づく受診勧奨に加え、2027（令和9）年度からは胃がん・大腸がん、乳がん、子宮頸がん検診の結果に基づく受診勧奨を実施します。

〔ヘルスリテラシーの向上〕

- 「栄養・食生活」、「身体活動・運動」、「休養・睡眠」、「喫煙」、「飲酒」、「メンタルヘルス対策」について、各種広報媒体（研修会、動画配信等）を活用してポピュレーションアプローチを推進します。
- 学校保健統計調査においては、肥満傾向児の出現率が全国と比較して高い傾向にあることや、佐賀支部加入者の生活習慣病予防健診等の結果においては、腹囲や代謝（血糖）リスク保有者の割合が全国平均と比較して高くなっていることから、こども健康教育を積極的に推進し、より早い段階からの適切な生活習慣への意識付けを行います。

2. 佐賀支部 健康づくり戦略（案）

Ⅲ）3年間の主な取組

《良質かつ効率的な医療の推進》

[医療提供体制の確保・充実に向けた取組]

- 佐賀県における地域医療構想調整会議へ積極的に参画することで、地域の現状や課題を把握し、病床機能の分化や医療機関機能に着目した医療機関の連携・再編・集約化、医療・介護連携の推進、医師偏在の是正等に向けた意見発信を行い、地域における効果的・効率的な医療提供体制の構築に向けて、保険者に期待される役割を果たします。

[医療費の適正化]

- 加入者が質の高い医療を将来にわたり受けることができるよう、協会が保有する医療や健診、給付等のデータ分析を進め、医療費の適正化に資する取組を進めます。
- バイオシミラーの使用促進に向けて、データ分析により作成した資料を基に県内の主要医療機関へ訪問し、情報提供や意見交換を実施するなど使用促進事業を進めます。
- 地域フォーミュラリの導入・運用に向けて、データ分析や他地域の取組状況に関する情報提供等、保険者協議会等と連携して推進に努めます。
- OTC類似薬の薬剤自己負担の見直しを踏まえ、セルフメディケーションの推進に努めます。
- 市町村国保や佐賀県等の関係団体と連携を深め、医療費の適正化に資する取組を進めます。